

幸田町防災行政無線が

幸田町防災行政無線（以下、防災無線）は、昭和60年に整備してから27年が経過したことで設備の老朽化が見られました。また、テレビがアナログからデジタル化されたように、防災無線についてもデジタル波による配信への移行が急務となっていました。

そこで、平成24年度防災無線デジタル化通信施設整備工事により、今までであった全設備を更新し、アナログからデジタルへと新しく切り替えました。主な内容は次のとおりです。

【写真】新しい屋外拡声子局が設置された里保育園



初めて導入された聴覚障がい者用の受信機



役場庁舎内の親局設備



移動系無線機と役場庁舎の内線をつなぐ新システム



新しく生まれ変わります！



消防署に設置された遠隔操作設備

今回の全設備のデジタル化整備は、近い将来に発生が危ぶまれる東海地震、東南海・南海地震に備え、幸田町にいるすべての人が安全に、安心して暮らせるまちの実現を目指したものです。なお、現在ご家庭で利用されている防災無線戸別受信機はそのまま継続してお使いいただけます。

大きく変わった点は以下の5点です。

- ①親局設備を含めた全設備のデジタル化
- ②屋外拡声子局などの増設
- ③デジタル化に対応する新無線機の整備
- ④聴覚障がい者用の受信機を配備
- ⑤デジタル化によるメール配信の開始

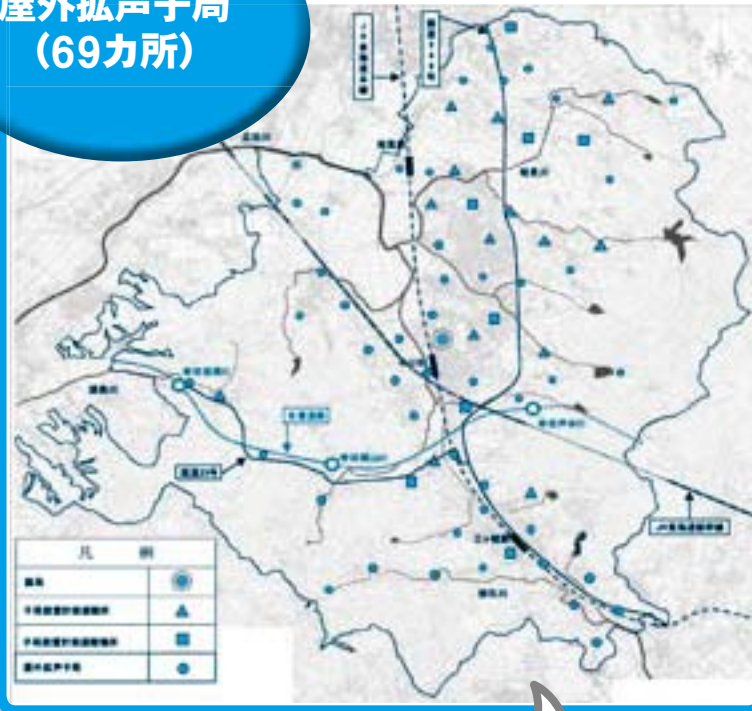
ジェイ アラート J-ALERTとは？

このシステムは、大規模災害や外部による武力攻撃などといった緊急事態などの時間的余裕のない緊急情報を、人工衛星を利用して送信し、幸田町の防災無線を自動起動することにより、24時間体制で町民の皆さんに緊急情報を瞬時に伝達するシステムです（例：緊急地震速報など）

親局設備のデジタル化を含めた設備更新

デジタル化により、今までにはなかった「文字による情報発信」が可能となったため、防災無線放送内容のメール配信を開始します。*詳しくは5ページをご覧ください。
今まで町民の皆さんにお伝えできなかったJ・ALERT（全国瞬時警報システム）放送を開始します。また、消防署に親局の遠隔操作設備を設置したことで消防署での操作も可能となり、災害発生時の消防団召集などにも迅速に対応できます。

屋外拡声子局 (69カ所)



放送は音声合成（人工的な声）を中心に放送します。

屋外拡声子局の充実

屋外拡声子局は、防災情報伝達の重要施設として設置しています。町民のほか、勤務や観光などで訪れる多くの人にも防災無線の音声が届くようにと、今までの55基から69基に増設しました。
また電波状況の良くなかった地域に対応するため、簡易中継局3基（須美敬覚寺・深溝小学校・深溝黒田防火水槽）を新設したことで、さらに広範囲へ、確実に電波を送信することが可能となりました。



深溝小学校に設置された簡易中継局



多用途、広範囲で

活用できる移動系無線機

デジタル化に対応した移動系無線機を全50台整備しました。

その内訳は、役場庁舎内に指令台を1台、携帯型無線機21台と内線接続用無線機5台を整備し、各区避難所にも携帯型無線機を23台整備しました。

またこの無線機は、通信の多チャンネル化により、複数の通信を別々の通信チャンネルを使って同時に行うことが可能となり、災害時における通信の混乱を回避することが出来ます。

三ヶ根山の山頂にある中継局を利用するため、周りに電波を遮るものが無い良好な送受信環境であり、非常時のみならず平常時の連絡手段としても活用が可能です。

聴覚障がい者用に

新しい受信機を配備

防災無線のデジタル化に伴い、文字による情報発信が可能になったことで、聴覚障がいをもつ人への防災無線の内容を伝えることが可能となりました。

この新しい受信機は、防災無線の電波を受信すると回転灯が光って無線が入ったことを知らせ、ほぼ同時に電光掲示板に文字がスクロール式で表示されます。

この受信機は、身体障害者手帳（聴覚）を交付されている人の世帯で希望された37世帯（1世帯につき1台）に無償貸与しました。



初めて導入された聴覚障がい者用の受信機



幸田町聴覚障害者福祉協会 代表

たかはし けいこ
高橋 恵子 さん

今まで聴覚障がい者は、防災無線の情報を知るすべがありませんでした。私の場合は、近所にたまたま親が住んでいるので、親がわざわざ家に来て「今〇〇で火事があったみたいだよ」などと教えてくれていました。

新しい防災無線は「サイレンに合わせて回転灯が光り、文字が流れて表示される」ということで、すばやく情報を得られるということをととてもうれしく思います。

また、子どもの運動会の雨天中止や、ごみ出し関係の放送など、些細な情報も得られるということはとても安心できます。

聴覚障がい者の防災にとって、これは大きな前進ですね。

自家発電装置の設置

防災無線専用の自家発電装置を役場庁舎内に新しく設置しました。災害時など、一時的に電力会社からの送電がストップしてしまった場合には、この自家発電装置が自動的に発動します。

発動時から24時間の稼働が可能であり、燃料を足すことでさらに継続して稼働させることもできます。災害時に電力がストップしても、幸田町の防災無線は稼働し続けることができます。



防災無線専用の自家発電装置

問合せ 消防署 ☎ 03・0119



サービス
開始は
5月1日
から！

新メールサービス

こうしたタウンメール

デジタル化による

メール配信の開始

「文字による情報発信」を活用し、防災無線の放送内容を携帯電話、スマートフォンなどの端末にメール配信します。これにより、屋外拡声子局から離れている場所でも放送内容を文字で確認することができるようになります。

今までは、「幸田町緊急メール (Kotakinjo@mmail.jp)」で情報発信をしてきましたが、新しく防災無線やJ・ALERTRと連携することで、すばやい情報伝達が可能となります。また、気象警報・防犯・交通安全の情報に加え、町からのお知らせなどの情報を配信します。

町からの緊急情報や広報を配信する「こうしたタウンメール」は、5月1日からサービスを開始します。「こうしたタウンメール」の登録方法などについては広報こうした5月号でお知らせします。

こうしたタウンメールのメニューは 全10種類

- 1 防災無線で放送される内容
- 2 気象警報 (大雨・洪水・暴風)
- 3 土砂災害警戒情報
- 4 竜巻注意情報
- 5 地震速報 (愛知県西部で震度4以上を観測)
- 6 東海地震関連情報 (注意情報・予知情報)
- 7 国民保護情報 (弾道ミサイル・テロ情報など)
- 8 防災情報 (避難準備情報・避難勧告・避難指示など)
- 9 防犯情報 (警察からの不審者情報や注意喚起など)
- 10 交通安全情報 (交通安全週間の案内や注意喚起など)

※1から7は、登録するともちろん配信される情報です。8から10は、任意で選択できます。
※1は、学区に関する放送内容 (行事の雨天中止など) もお住まいの学区にあわせて配信します。

幸田町緊急メールからの移行について

5月1日からこうしたタウンメールが開始されることにより、幸田町緊急メールのサービスは5月末日をもって終了します。5月1日時点で幸田町緊急メールに登録されている人には、こうしたタウンメールへの登録に関するメールを配信します。その内容をご確認の上、改めて登録手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

問合せ 防災安全課安全対策G (内線 372)

- こうしたタウンメールの良いところ！
- ① 登録料無料
 - ② 緊急情報をすばやく受け取れる
 - ③ 防災無線の放送内容が文字で確認できる
 - ④ 幸田町にいなくても放送内容がわかる